



2010年3月期 第2四半期決算説明会

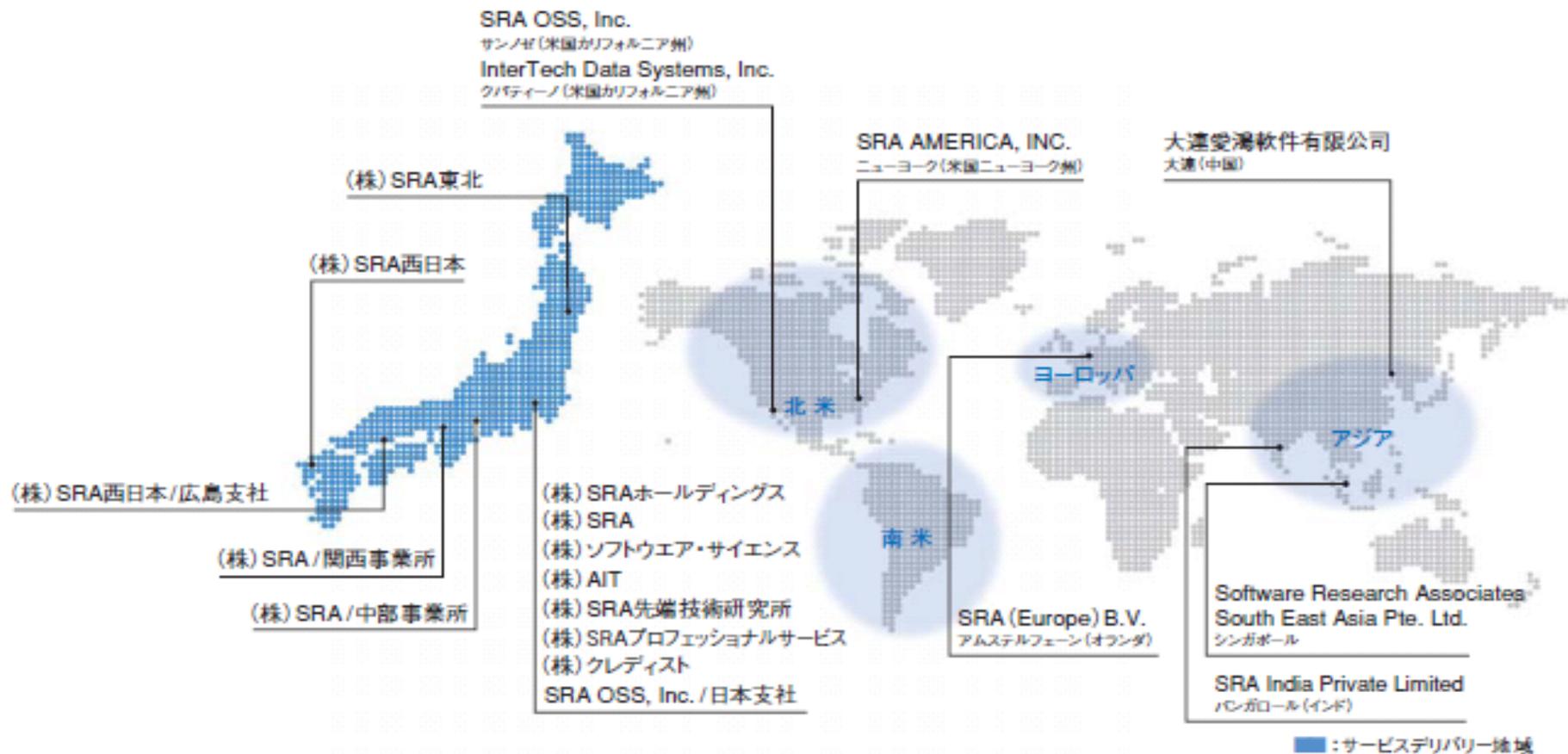
株式会社 **SRAホールディングス**
SRA Holdings, Inc.

代表取締役社長 鹿島 亨



SRAグループ

グループ子会社 17社
うち連結対象子会社 11社



目次

1. 2010年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期の取り組み
 - (1) 緊急対策
 - (2) 継続的取り組み

A decorative graphic in the top right corner featuring three butterflies (green, pink, and orange) flying over a white arch. Below the arch, a multi-colored rainbow (yellow, blue, purple, red) curves downwards across the page.

1. 2010年3月期 第2四半期決算概要

第2四半期業績（連結）

単位：百万円

	2009年3月期 第2四半期	2010年3月期 第2四半期
売上高	19,430	15,967
対前年同期伸び率	△1.8%	△17.8%
経常利益	1,455	709
対前年同期伸び率	△15.9%	△51.3%
経常利益率	7.5%	4.4%

業績分析(連結) 売上高

◆売上高 159億67百万円

(前年同期比 34億63百万円減 / 17.8%減)

■主な要因

◎開発事業 = 83億68百万円 (前年同期比 21.6%減)

- ・証券業、製造業および通信業向けの受注が大幅に減少

◎運用・構築事業 = 20億91百万円 (前年同期比 15.3%減)

- ・学校関連、企業向けともに受注が減少

◎販売事業 = 55億 6百万円 (前年同期比 12.3%減)

- ・(株)AIT サーバーを中心とする機器販売で大型案件を受注
- ・(株)SRA 機器販売およびパッケージ販売が低調

業績分析(連結) 経常利益

- ◆経常利益 7億9百万円（前年同期比 51.3%減）
- ◆経常利益率 4.4%（←前年同期 7.5%）

■主な要因

粗利益の減少

- ◎売上高の減少
- ◎主要顧客である証券業の受注単価が想定以上に下落
- ◎「工事損失引当金」の計上（2億45百万円）

下期検収のプロジェクトにおいて顧客の要望に対応することにより
多額の費用が追加発生する恐れのあるものをMAXの見積額で計上

※工事損失引当金＝今期から変更された経理処理であり、プロジェクト終了までに
損失が見込まれる今年度下期検収予定分につき、四半期毎に
損失見込額を見積もって計上
実際に発生した損失実績を計上する「仕掛り評価損」とは
内容が全く異なる

通期業績予想

■2010年3月期通期業績予想

単位：百万円

売上高	32,600
経常利益	2,740



当初の通期業績予想値は
修正しない

■通期業績予想を修正しない理由

◎第2四半期で計上した工事損失引当金は、顧客との交渉による
発生費用圧縮の可能性が十分残されている。

⇒国際会計基準の時価主義の流れを理解し、**ダウンサイドリスクを早期に開示する**
というスタンスで計上

◎第2四半期で計画未達となった粗利益を**下期でリカバリーする計画**を推進

- ・第2四半期で粗利益計画を達成できなかった会社：未達分を下期に取り戻す
- ・第2四半期で粗利益計画を達成した会社：過達分を年度で維持

<参考> キャッシュ・フロー（連結）

	2009年3月期第2四半期	2010年3月期第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-405	1,177
キャッシュ・フローマージン（%）	-2.1	7.4
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-200	-1,466
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-341	-584
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	-969	-869
現金及び現金同等物の期首残高（百万円）	11,265	11,753
現金及び現金同等物の四半期末残高（百万円）	10,296	10,883

<主な要因>

◎営業活動によるキャッシュ・フロー

：売上債権の減少 25億89百万円、税金等調整前四半期純利益 6億55百万円、
法人税等の支払 7億89百万円、仕入債務の減少 6億40百万円、たな卸資産の増加 5億34百万円

◎投資活動によるキャッシュ・フロー

：投資有価証券の取得 8億46百万円、貸付による支出 5億6百万円

◎財務活動によるキャッシュ・フロー

：配当金の支払 5億53百万円

株主還元と企業価値指標

◆1株当たり当期純利益

2009年3月期＝147.52円（実績）

2010年3月期＝104.77円（予想）

◆期末配当

2009年3月期＝40円（実績）

2010年3月期＝40円（予想）

<連結配当性向20%を利益配分の目処>

2009年3月期＝27.1%（実績）

2010年3月期＝38.2%（予想）

◆ROE <目標＝連結ROE2桁の確保・維持>

2009年3月期＝15.0%（実績）

2010年3月期＝10.0%（予想）

<参考> SRAホールディングス 第2四半期業績（連結）

単位：百万円

	2008年3月期 第2四半期	2009年3月期 第2四半期	2010年3月期 第2四半期
売上高	19,786	19,430	15,967
対前年伸び率	18.7%	△1.8%	△17.8%
経常利益	1,731	1,455	709
経常利益率	8.7%	7.5%	4.4%

<参考> SRAホールディングス 通期業績（連結）

単位：百万円

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期予想
売上高	45,058	41,777	32,600
対前年伸び率	22.6%	△7.3%	△22.0%
粗利益	8,747	8,346	6,940
粗利益率	19.4%	20.0%	21.3%
経常利益	4,181	3,894	2,740
経常利益率	9.3%	9.3%	8.4%
当期純利益	2,224	2,041	1,450
1株当たり当期純利益	160.74円	147.52円	104.77円
ROE	18.0%	15.0%	10.0%
1株当たり配当金	40円	40円	40円

<参考>

SRAグループ各社業績

		2008年 3月期		2009年 3月期		2010年3月期
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
SRA	売上高	11,655	25,711	10,809	23,093	8,415
	経常利益	1,598	3,190	1,298	2,810	564
AIT	売上高	4,887	12,317	4,723	11,355	4,777
	経常利益	328	745	315	762	238
ソフトウェア・サイエンス	売上高	979	2,328	1,039	2,245	653
	経常利益	18	210	-71	60	-51
SRA西日本	売上高	638	1,282	635	1,300	495
	経常利益	82	154	68	159	40
SRA東北	売上高	448	1,092	457	1,113	443
	経常利益	-21	65	3	68	-25
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	1,124	2,233	1,099	1,946	1,131
	経常利益	109	228	143	274	173
SRA OSS	売上高	692	1,568	1,001	1,808	534
	経常利益	14	93	11	79	10
クレディスト	売上高	117	259	174	327	105
	経常利益	8	32	28	44	2
その他の子会社	売上高	481	1,094	468	1,001	274
	経常利益	-11	10	-5	-14	-8
SRA子会社合計	売上高	9,369	22,177	9,600	21,099	8,416
	経常利益	529	1,540	494	1,435	378



2. 下期の取り組み

- (1) 緊急対策
- (2) 継続的取り組み



2. 下期の取り組み

(1) 緊急対策

2010年3月期計画

	2010年3月期計画
売上高	32,600 百万円
粗利益	6,940 百万円
経常利益	2,740 百万円
経常利益率	8.4 %
1株当たり 当期純利益	104.77 円
1株当たり 配当金	40 円

「リカバリープラン」の実行

粗利益額の確保

＜SRAグループ全社による「リカバリープラン」の実行＞

■ 売上増⇒粗利益増

- ・新規ビジネスの推進
ASPサービス、マイグレーションサービス等
- ・案件管理の徹底と強化

■ 売上原価低減⇒粗利益増

- ・開発環境支援ツール拡充による生産性向上
ソースコード検索ツール活用、開発フレームワーク統一等
- ・オフショア開発の推進（中国・インド）
- ・発注単価の抑制

A decorative graphic in the top right corner featuring three colorful butterflies (yellow, pink, and orange) flying over a white arch. Below the arch, a multi-colored rainbow (yellow, blue, purple, pink) curves downwards across the page.

2. 下期の取り組み

(2) 継続的取り組み

2009年度の取り組み方針

① 安定的な受注体制の確立

② 粗利益率向上&コスト抑制

③ 飛躍への布石

2009年度の取り組み方針と現状

① 安定的な受注体制の確立

■ 営業プロセスの確立

⇒ 営業の効率化による体制拡充

■ 中期的な重点事業⇒グループ横断的運営体制

グループシナジーの最大化

< 社長直轄バーチャル組織体制拡充 >

「販売ビジネス」、「組込ビジネス」、「文教ビジネス」、
「電力ビジネス」、「中国ビジネス」

2009年度の取り組み方針と現状

② 粗利益率向上&コスト抑制

■生産性向上

- ・開発フレームワークの統一化 ⇒ 下期から実施
- ・ソースコード検索ツール(SRA開発製品)の活用 ⇒ 下期から実施

■オフショア開発(インド・中国)の推進

発注	2009年度計画	1,020人月
	第2四半期実績	400人月(ほぼ計画通り)

■販管費抑制

販売管理費	2009年度計画	4,200百万円(前年度比7.2%減)
	第2四半期実績	1,869百万円(前年同期比22.2%減)

2009年度の取り組み方針と現状

③ 飛躍への布石

- 海外ビジネス収益機会の拡大
(中期経営計画重点課題)



布石 < 第一歩 >

2009年2月

★ SJと業務・資本提携

⇒ 中国オフショア / 中国ビジネス展開

2009年11月

☆ SJとデジタル・チャイナ・ホールディングス
グループが業務・資本提携

★ SJ保有自己株式を取得 / 業務提携強化

⇒ 中国ビジネス 加速



布石 <次なる一歩>

2009年8月

★ Proxim社と業務・資本提携

⇒ SRA OSSを中心に

SI+無線通信分野 (WiMAX等)へ事業展開

<市場 = 欧米+BRICs(有望市場)>

「WiMAX」=先進無線規格

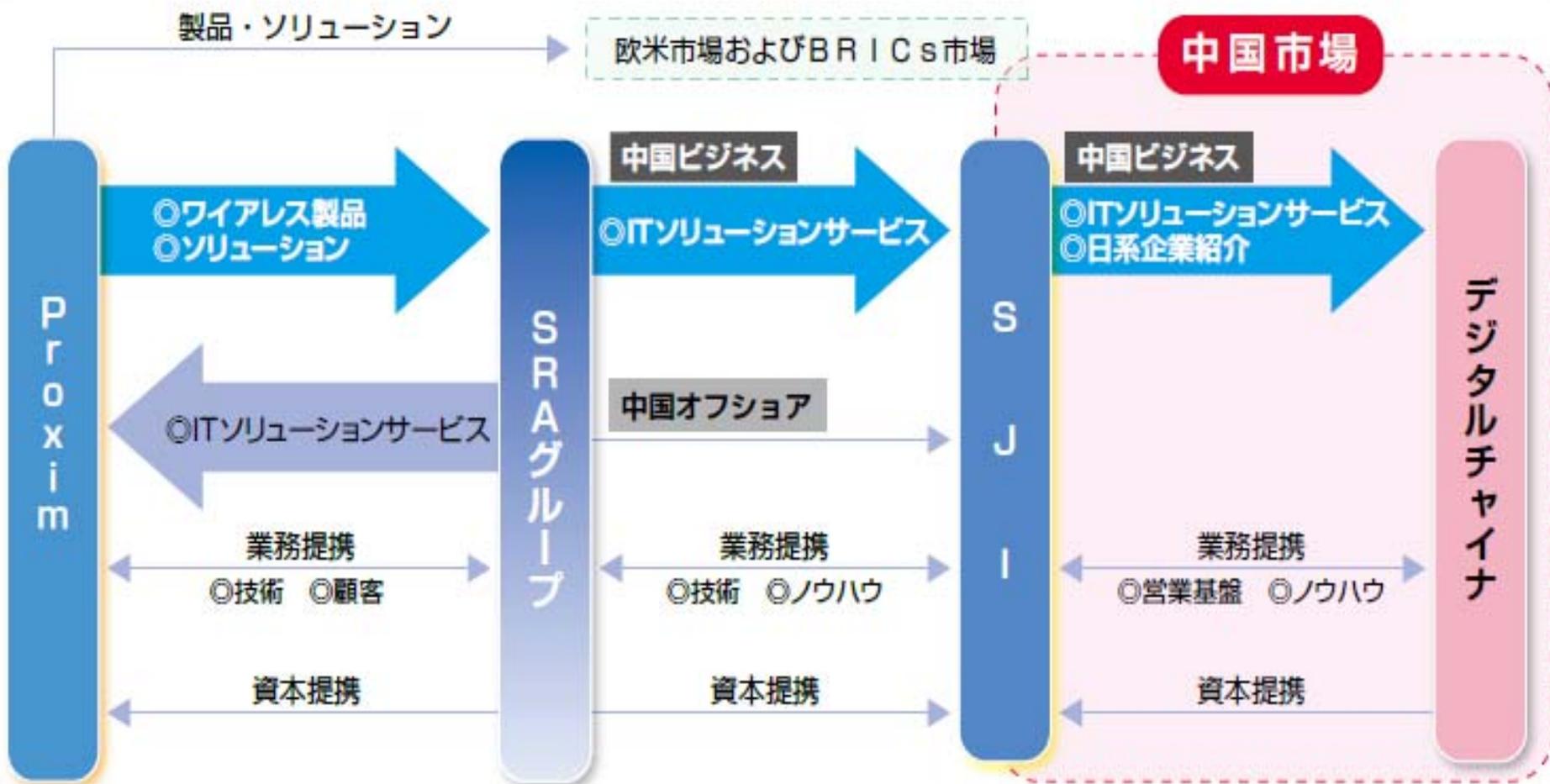
- 通信スピード 高速 最大40M ※第3世代携帯電話(最大7.2M)
- 電波到達距離 ・固定通信方式 10km位
・モバイルWiMAX 数km

様々な地域/分野への展開が可能 (例:サーベランスカメラ)

海外ビジネス／中国ビジネス加速



●業務提携概念図



2010年3月期計画

	2010年3月期計画
売上高	32,600 百万円
粗利益	6,940 百万円
経常利益	2,740 百万円
経常利益率	8.4 %
1株当たり 当期純利益	104.77 円
1株当たり 配当金	40 円